

《2014年(平成26年)度入学生用》

情報学部

授業科目履修課程表

◆教育課程◆

- 【第Ⅰ群】
総合教育科目
 - a) 総合文化科目 [第1類 人間の探究, 第2類 社会の科学, 第3類 世界と日本, 第4類 芸術と表現, 第5類 科学と文明]
 - b) 外国語科目 [英語科目, ドイツ語科目, フランス語科目, 中国語科目, ロシア語科目]
 - c) 保健体育科目
 - d) 自由研究科目
 - e) キャリア支援科目

- 【第Ⅱ群】
専門共通科目
 - a) 共通基礎科目
 - b) 専門基礎科目

- 【第Ⅲ群】
専門科目 ——— 専門科目 (卒業論文を含む)

情報学部で何を学ぶか

情報学部は、高度情報社会に必要とされる、幅広い能力を持った人材を育成するために生まれた学部です。多様な情報であふれかえっている社会の中で快適に生活するには、情報技術(IT)が必要であり、生活のあらゆる場面で情報学とその関連分野が重要となっています。

しかし、一方で、これを担う技術者が不足しているのも事実です。このような社会の状況に対して、情報学部では実際の問題解決を通して学ぶ授業形態(それをPBLと呼んでいます)を積極的に取り入れた授業を展開しています。たとえば、コンピュータ科学科では情報のセキュリティの問題をはじめとして、ソフトウェア設計や大規模データ処理等に関する問題等を扱います。

一方、情報デザイン学科では、多様な形態の情報を扱うことで、広く社会基盤のデザインやコミュニケーション支援など様々な分野において、新しい付加価値を創造し、社会が求める人に優しい情報技術を提供できるように、人間情報、知識情報、コンテンツ設計分野に関する問題等を扱います。

卒業後は、大規模ソフトウェアの設計、情報処理システムの構築、およびインターネット時代にふさわしいセキュリティ等の分野で活躍が期待されています。また、デジタルコンテンツの制作とマネジメント、超高齢社会においてQOL(Quality of Life:生活の質)の向上を考慮したシステムや製品の製造等の新しい分野でも大いに活躍が期待されます。